

高次脳機能障害患者と家族の会「つばさ」の活動

県内には高次脳機能障害患者と家族の会「つばさ」があります。役員の方に、つばさの会についての紹介をしていただきました。

つばさの会のH20年度の活動のはじめとして、啓発活動を6月8日(日)午後1時から香林坊アトリオ前で行ないました。石川県の人たちにこの障害をもっと知ってもらう為のビラ配りと、今年は活動資金の為の募金活動もいっしょに行いたいと思います。

この活動で、障害を知らずに悩んでおられる方が少しでも石川県の相談窓口や支援団体があることを知ってもらえたらと思います。

家族会みんなの夢である作業所の為の資金集めとして、古新聞、アルミ缶集めを始めました。パイロットクラブさん、石川県の関係者の方々、会員の友人、知人等々、本当にたくさんの方々のおかげで、“こんなにも集まって!!!”もう感謝感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

つばさの会は、支援センターなどの協力で確実に前進していると感じています。これからも夢に向かってみんなで頑張っていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



会員を募集しています!!

<連絡先>
金沢市久安2丁目429-2
あおとりケアサービス内
TEL 076-247-5011

石川県高次脳機能障害相談・支援センターのご案内

〒920-0353 石川県金沢市赤土町ニ13-1
石川県リハビリテーションセンター内
(石川県済生会金沢病院となり)
電話 076-266-2188
ファックス 076-266-2864
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/koujinou/>

電話相談：月～金曜日 8時半～17時15分
土曜日 8時半～12時半
面接相談：月～金曜日 8時半～17時15分
(予約制)

(相談担当) 北野 原 嬉野



(発行)
石川県金沢市赤土町ニ13-1
石川県リハビリテーションセンター内
石川県高次脳機能障害相談・支援センター
電話 076-266-2188

石川県 高次脳機能障害相談・支援センターニュース

開所から一年を迎えて

石川県高次脳機能障害相談・支援センター 所長 林 正男

高次脳機能障害相談・支援センターが開所して1年が過ぎました。これまで、延べ376回の支援です。センターで相談に応じるだけでなく、自宅に向いたり、会社や学校に行き支援に努めて参りました。保健師、心理士、作業療法士が、それぞれの専門性を生かしながら協力して取り組んできました。しかし、どれだけ役に立っているのでしょうか？

ほとんどの方は、医療機関でのリハビリテーションを受けた後も障害が残り、その結果、家庭や学校、職場での生活で問題が生じるために相談に来られています。しかも、ご本人よりもご家族や同僚など周りの人が困っての相談です。私たちは、困りごとを少しでも軽減するためどうしたらいいのかと、一所懸命考え、話し合い、そして本人や周りの人と調整します。それでも困りごとはなくなりません。

高次脳機能障害によって、ご本人もご家族も、様々な困難を伴う日々を生きておられます。現在の医学では、高次脳機能障害を解消することはできません。環境を整えることによって困難を少しでも軽減しようとする努力は、これからも私たちの重要な仕事のひとつです。また、それだけでなく、困難とともに生きるご本人やご家族が、そのまま私たちに映るよう関わることが大切なのではないかと思っています。

私たちの力は微力ですが、困っている方の相談を待っています。



昨年度(平成19年度)の相談実績

相談件数

相談方法	延件数
電話	264
面接	83
メール	8
訪問等	21
計	376

(実件数 54)

相談者(重複あり)

相談者	延件数
本人	107
家族・友人	116
医療機関	55
福祉施設	24
行政	14
患者団体	3
その他	82

相談内容は、就労に関することや、精神的なこと、生活支援教室に関する事などが多くなっています。
また、障害の評価に関することや、障害者手帳や障害年金などの社会保障制度に関する相談も聞かれます。

高次脳機能障害相談・支援センターの活動について

高次脳機能障害相談・支援センターも2年目となりました。相談を必要とする多くの方々にご利用いただきたく、今回相談の流れや役割についてご紹介します。

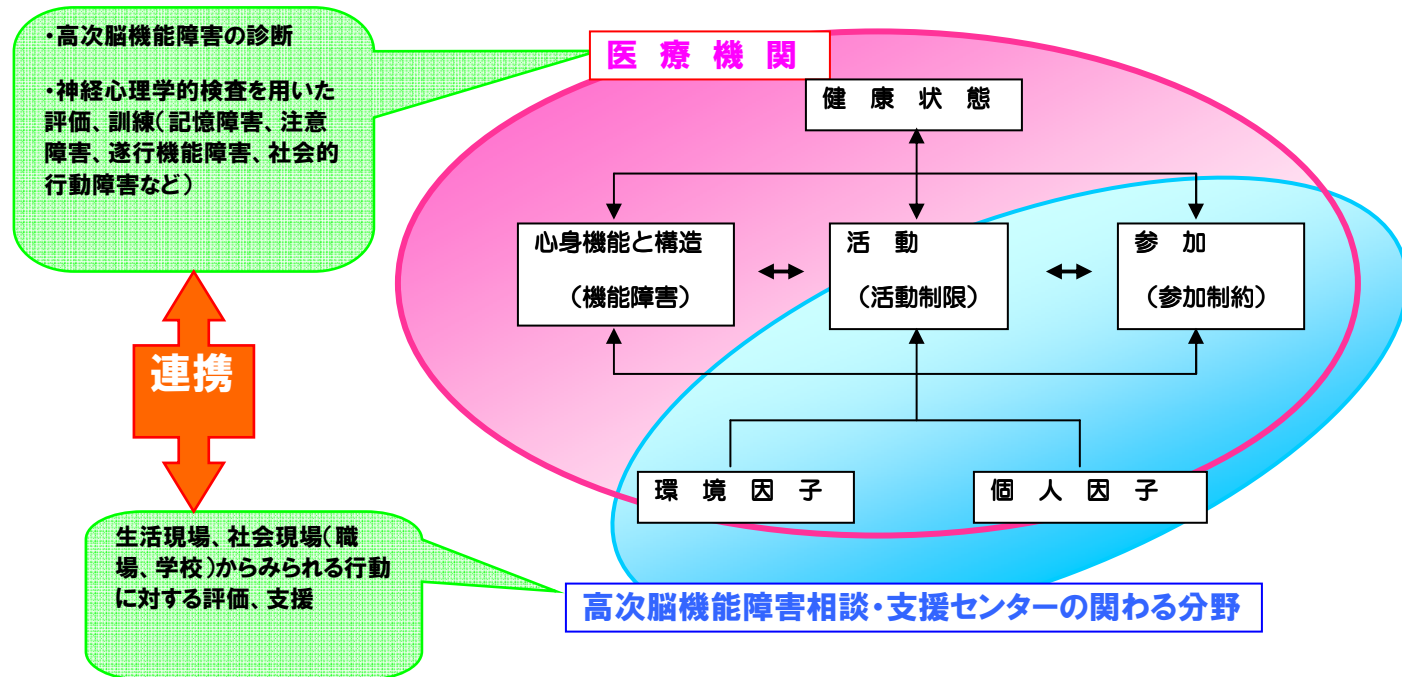
【相談の流れ】

1. 相談員（保健師、心理士）が障害や日常生活上の悩みなどに関する話を聴き、家族会、医療機関、福祉制度などの情報を提供します。
2. 相談内容により、リハビリテーション専門職（作業療法士、理学療法士）が、障害からみられる日常生活上の問題や社会的な問題（就学・就労など）を把握し、具体的な支援について相談員と検討します。
3. 医療機関、就学・就労機関、地域の保健福祉センター、障害者職業センターなどの関係機関と連携して支援を行います。

【センターの役割】

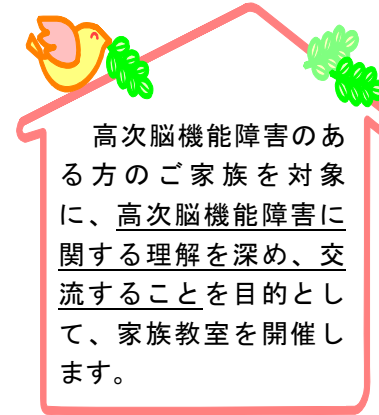
当センターの役割は、医療機関と連携して、家庭や職場、学校などの社会の中で活動や社会参加の障害になっている要因を分析し、少しでも本人に適した生活環境の支援に努めます。

国際生活機能分類（ICF）でいう、活動（生活）・参加（社会参加）の支援に努めていきたいと考えています。



表：国際生活機能分類(ICF)からみた当センターの関わる分野

家族教室



回	日	時間	内容	講師
1	平成20年 6月28日（土）	14時～ 16時	高次脳機能障害のリハビリテーションについて	リハビリテーション専門医
2	平成20年 8月30日（土）		家族の関わり等について	日本脳外傷友の会
3	平成21年 2月28日（土）		成年後見制度について	石川県司法書士会

○ 参加は無料で、1回だけの参加も可能です。

○ 参加を希望される方は、事前にご連絡ください。

当事者交流会

昨年度、高次脳機能障害のある本人たちだけが集まってお話が出来る場が欲しい、という声が聞かれました。そこで今年度は、当事者が集まって自由に話し合いをしたり、情報交換をしたり、交流を深めたりすること等を目的に、当事者交流会を年2回開催することになりました。

第1回は6月15日（日）の午後に行われ、当事者4名、その他ご家族が5名参加されました。それぞれが、高次脳機能障害になってからのこれまでの経過や、現在の生活状況、困っていることなどを話し、他の方々との交流をはかりました。ある家族の方からは、一番よくないのは「あせること」であるという話や、本人のできることは本人にさせるようにしている、日中どこか通える場所がないか、体を動かさなくなるのでどこか運動ができる場はないか、などの話もあり情報交換をしていました。

第2回は来年2月15日（日）の午後開催する予定となっています。また色々なお話をしながら、交流を深めていきたいと考えています。

研修会

リハビリテーション専門職を対象とした研修会として、昨年度は「高次脳機能障害の評価とリハビリテーションの実際」という内容で、相澤病院のリハビリテーション医の原寛美先生よりご講演をいただきました。

今年度は、「高次脳機能障害の評価のポイント」という内容で、実際の医療現場で活用できるような高次脳機能障害の評価について研修会を行います。詳細は下記の通りとなっておりますのでぜひご参加下さい。

日時：平成20年8月23日（土） 14時～16時

会場：石川県リハビリテーションセンター 4階研修室

内容：「高次脳機能障害の評価のポイント」

講師 横浜市立脳血管医療センター 作業療法士 早川 裕子氏

対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

